

採点表(第10回環境活動レポート部門): EA21 評価基準

評価基準 基本的に2 / 1 / 0、で採点する。小数点以下一桁も可。

1) 事業活動の概要 各2点 MAX: 10点

事業者名..... (2点)

「2」 事業者名のみならず事業活動の範囲がわかる、等

「1」 事業者名のみ、等

「0」 記載なし

所在地..... (2点)

「2」 本社所在地だけでなく、対象事業所所在地も記載、等

「1」 本社と事業所が別なのに1ヶ所のみ、等

「0」 記載なし

環境担当者と連絡先..... (2点)

「2」 担当者もしくは部署と、電話・ファックス・ウェブサイト等記載、等

「1」 部署名のみ、等

「0」 記載なし

事業内容の紹介..... (2点)

「2」 会社概要が書かれているもの、等

「1」 業種が分かる程度、等

「0」 記載なし

事業規模..... (2点)

「2」 製品別に、過去のトレンドと今後の見とおし等もわかるもの、等

「1」 単年度売上・生産高が分かる程度、等

「0」 記載なし

2) 環境マネジメントシステム 各5点、MAX: 20点

環境方針..... (2点)

「2」 法の遵守以上の自主基準を定めた環境方針がある、等

「1」 スローガンの方針を掲げている、等

「0」 ない、等

環境目標とその実績..... (2点)

「2」 目標と実績が明確に対比できるよう記述されている、等

「1」 記述はあるが、目標と実績の解析がおこなわれていない、等

「0」 スローガンの目標がかかげられているに止まっている、等

組織・体制..... (2点)

「2」 ISO もしくはそれに準じたEMSを構築している、等

「1」 EMS までにはいたっていないが、担当役員、部署等がきめられている、等

「0」 なし、もしくはこれからの課題との記述、等

監査・点検..... (2点)

「2」 内部もしくは外部者による監査・点検がおこなわれ結果が記述されている、等

「1」 監査・点検が行われているとの記述、等

「0」 記述なし、等

3) 環境負荷の低減

MAX : 40点

3-1 全般

各5点 MAX : 10点

評価項目の選択..... (5点)

- 「2」 事業内容に合致した項目が適切に選択されている、等
- 「1」 事業内容からみて重要な項目の一部がとりあげられていない、等
- 「0」 事業内容に合致した項目が選択されていない、等

目標と取組み..... (5点)

- 「2」 取組みには具体的なプログラム、達成期限、経営資源の配布等が明記されている、等
- 「1」 取組みと目標達成方法の整合性が必ずしも明確ではない、等
- 「0」 定性的表現に止まっている。

3-2 環境負荷項目

MAX : 30点

以下の項目については次の基準

- 「2」 過去の取組みおよび実績と目標が数値でしめされている、等
- 「1」 実績が不明確で目標のみが数値化されている、等
- 「0」 定性的表現に止まっている、等

温室効果ガス等の大気への排出量及びその低減対策..... (10点)

廃棄物等総排出量、廃棄物最終処分量及びその低減対策（非製造業では一般廃棄物）(10点)

事業特性に応じた取組み..... (各5点 MAX : 10点)

- ・総エネルギー投入量及びその低減対策
- ・総物質投入量及びその低減対策
- ・水資源投入量及びその低減対策
- ・化学物質排出量・移動量及びその低減対策
- ・総製品生産量又は販売量
- ・総排水量及びその低減対策
- ・輸送にかかわる環境負荷の状況及びその低減対策
- ・その他

4) その他の環境取組

MAX : 10点

製品設計での環境配慮..... (3点)

- 「2」 全製品・サービスに対して環境配慮開発設計について、実績・方針等を具体的に示している、等
- 「1」 今後の方向性のみを定性的に記述、等
- 「0」 記載なし

リサイクル、回収、資源再利用の取組み等..... (3点)

- 「2」 全製品・サービスに対して実績・方針等を具体的に示している、等
- 「1」 今後の方向性のみを定性的に記述、等
- 「0」 記載なし

グリーン調達..... (2点)

- 「2」 グリーン調達など、さまざまな取組みにチャレンジ、等
- 「1」 方向性のみ示されている、等
- 「0」 記述なし

その他の取組み..... (2点)

- 「2」 その他、さまざまな取組みにチャレンジ、等
- 「1」 方向性のみ示されている、等
- 「0」 記述なし

5) コミュニケーションの工夫

MAX : 10点

コミュニケーション・ツールとしての工夫…………… (5点)

「2」 双方向性のため、連絡先、担当等が明記され、ツールとしての工夫がなされている、等

「1」 工夫の余地が多い、等

「0」 コミュニケーションツールとしては捉えられていない、等

地域社会との協調…………… (5点)

「2」 労働安全衛生、社会貢献や、地域との対話などパートナーシップ形成に努力していることの記載、等

「1」 今後の取組方針のみ述べられている、等

「0」 記述なし、等

6) 総合評価

MAX : 10点